

れんごう中越地協

第1042号2020.7.1
連合中越地域協議会
長岡市愛宕3-7-24
TEL 0258-86-0111
FAX 0258-86-0884
発行人 矢島 良彦
定価 1部10円
購読料は会費に含まれる



第2回政策福祉担当者会議

自治体要望や周年事業を協議

連合中越地協第2回政策福祉担当者会議(横澤副議長担当)が、6月17日(水)午後6時30分から地協事務所で開催された。

最初の自治体要望関係では、長岡市への要望に関して提出時期を望み編成作業は10月を目途とする。要望の取りまとめにあたっては、昨年度の回答に対して評価分析を行うことと、7月に各加盟組合へのアンケートを実施し、アンケートと連合新潟の要望内容から素案を作成して7月下旬に第3回委員会で原案化する。その後は、幹事会での協議、連合推薦市議との意見交換を経て9月に各加盟組合の意見集約、10月初旬に要望を確定するとして、なお、アンケート時には新型コロナウイルス対策の緊急的な要望を求めることとした。

連合中越地協第2回中間決算のほか当面の支部活動を協議

連合中越地協第2回支部代表者会議が、6月20日(土)午後2時から長岡グランドホテルで開かれた。

矢島議長は開会にあたり「社会生活・介入活動の停滞、マイナス成長等といわれている。地協活動も2月までは行えたが、春先生活闘争、メーデーというメインの運動は沈滞。世の中はそれどころではない状況からようやく県をまたぐ移動自粛が解除された。新しい生活様式やソーシャルディスタンスは、会場等器の問題もある。リモートを入れ

この後、自己紹介が行われ、最初に地協の中間決算と各支部の中間会計報告が行われ、

内容を確認した。なお、会計期間が2月末までとなったことから、北魚沼支部の会計処理日との関係で執行率に偏りがあったと事後に報告された。

次に、年度末までの主な活動について報告された。この中では、

る自治体要望の取り組みについて把握することとした。

次に、長岡地区労働者福祉協議会の総会日程を確認。また、次期ワークショップ&ライブセミナーの開催にあたっては、オンラインを含めて検討等と新型コロナウイルス対応を意見交換した。

中越地協結成30周年事業については、イベント開催、記念誌発行、調査研究委託等を検討課題として、今後検討していくこととした。このほか、首長との対話集会の検討や新潟県最低賃金引上げに関する要請等について意見交換した。

連合中越地協第8回幹事会

日時 7月8日(水)18:30～
場所 地協事務所(愛宕3-7-24 2階)
議題 平和運動の取り組み
そばの種まきの取り組み 他

新型コロナウイルスの影響を考慮して、囲碁将棋大会を中止する。遡ること第1回連合中越・親善交流囲碁将棋大会は、91年7月14日(日)栃尾市文化センターで開催された。この大会の企画と準備は、4月26日に結成した栃尾支部が一切を取り仕切っており、囲碁18人、将棋19人が参加した。本来なら28回大会のはずだった。過去に中止になったのは、中越沖地震が発生した07年。毎年参加していた方々にとっては、寂しいかぎりだと思いが、一局50分の一日五局。対面での競技となるので致し方ない▼地域活動も様々に影響している。祭りも、運動会も中止。毎年小学生と行ってきたつじ

東蔵王2



事務局長

小林 守

の挿し木作業も、自主防災会訓練も中止した。この先9月の敬老会も中止。地域活動が行えない雰囲気は、人間関係の希薄化が心配される▼新生活様式は、会議はオンライン、出勤は時差。徒歩・自転車の併用も提唱している。この機会に労組は先を見据え、長時間労働、低い有休取得率、体調がすぐれなくても休まない等という働き方や仕事の見直しに対処していく必要がある▼国会が閉会した。第2波を想定した備えや機動的・継続的な雇用・生活・経済支援等から野党が求めた会期延長は否決した。第1波は、活動自粛策だったが、第2波も自粛策では政府を疑う。



メーデー事業として、長岡地区地域貢献を9

6月以降に開催する単組代表者会議、地区労働協賛会、平和活動、クリーン作戦等が報告された。

次に、各専門部の活動等として今後予定される活動や日程について意見交換した。

主なものは次のとおり。連合新潟第30回年次大会は10月28日に開催されるが懇親会は行わないことを検討。中越地協の議案審議幹事会は、北魚沼支部内で行う。中越地協総会は11月12日に開催予定だが、躍進レセプションの有無は連合新潟で統一対処となる。

支部交付金は、今年度同額とする。このほか、各支部からの自治体要望提出、釣魚大会は8月22日に開催するが囲碁将棋大会は中止する。各平和関連事業を地協に報告してほしい等を確認した。また、事務所の移転に伴う経費、政府支給「布マスク」の福祉施設への寄贈、災害対応を基本として各種事業時にマスクや消毒剤の不足が考えられるため、地協にストックしてあると報告された。会議後は、懇親会を開催し、ソーシャルディスタンスのもとに注意しながら、各種課題について意見交換が図られた。



サラリーマン川柳(イクメンは子よりも妻に)

気をを使い(社の無駄をすべて知ってる)

シュレッダー(駅でなく)

線路に近い

マイホーム(長々と)

話した後で(今多忙)

